令和８年度 日本大学 FD 推進センター基本計画

日本大学 FD 推進センター

日本大学 FD 推進センター（以下「センター」という）は，日本大学教育憲章，教学に関する基本方針及び日本大学中期計画に基づき，本学の内部質保証における教育改善を行うため，以下のとおり策定する。

1　日本大学における FD の定義

日本大学では，FD（ファカルティ・ディベロップメント）を「自主創造の理念の下に日本大学を取り巻く外的諸要因をも分析して，学問領域単位（学科・専攻等）での教育プログラムを常に見直し，それを実行するため，教員が職員と協働し，学生の参画を得ながら組織的に取り組む諸活動」と定義する。

2　センターの目的・ミッション

①　目的

日本大学における FD を全学的に推進するとともに，大学院，学部，通信教育部及び短期大学部の FD の支援を行い，もって日本大学の教育の質的向上に資することを目的とする。

②　ミッション

センターは，本学の「目的及び使命」のさらなる推進を目指し，日本大学教育憲章を踏まえ，大学の求める教員としての資質を恒常的に高めるための組織的かつ多面的な取組みを実践する。また，職員の教学管理能力を一層向上させ，職員が日本大学教育憲章に基づく教育課程の編成に参画し，教職協働による教育研究活動を実践する。さらに，学生と教職員が手を携え，本学の教育改革を推進することをミッションとする。

3　センターの活動

①　センターの活動の位置づけ

センターの活動は，日本大学内部質保証に関する PDCA サイクルに基づく教育改善活動の中の「Action（改善）」に位置づけられる活動として，上記の目的の達成を目指す。

②　全学 FD 活動と学部 FD 活動の位置づけ

日本大学内部質保証に関する PDCA サイクルに基づく教育改善活動は「全学レベル」「学位プログラムレベル」「教員レベル」に区分されることから，「Action（改善）」を担うセンターの活動もこの３つのレベルに区分した上で行う。また，３つのレベルを，大学全体で行う「全学 FD 活動」と学部で行う「学部 FD 活動」に分け，教員の資格・役職等に応じて以下のⅠからⅢのフェーズで行い，別紙１「日本大学 FD 推進センターFD マップ」及び別紙２「大学の求める教員としての資質」を到達目標とする。

【フェーズⅠ（新任採用教員，非常勤教員)】

全学 FD 活動：(例）新規採用教員及び非常勤教員 FD 研修プログラム等

学部 FD 活動：(例）教育技法ワークショップ，コンプライアンス講習会等

【フェーズⅡ（中堅教員)】

全学 FD 活動：(例）全学 FD ワークショップ，学生 FD CHAmmiT 等

学部 FD 活動：(例）シラバスチェック

【フェーズⅢ（教授，執行部)】

全学 FD 活動：(例）全学 FD ワークショップ，学生 FD CHAmmiT 等

学部 FD 活動：(例）学部の教育研究上の目的や三つの方針を理解するワークショップ等

③　全学 FD 活動目標

(1)　教員の恒常的な資質及び職員の教学管理能力の向上を目指し，日本大学教育憲章に基づく教育研究活動能力の獲得

(2)　教員の教育研究活動等の自己点検・評価の実施による資質向上の推進

(3)　各学部等 FD 委員会との連携強化

(4)　FD 活動の成果とその充実を支援する情報を収集し，学内外へ効果的に発信

(5)　センターにおける PDCA サイクル充実を図る組織的取組みの実施

④　全学 FD 活動方針

(1)　FD 活動による教育改善効果の最大化

(2)　教職員の負担軽減

(3)　補助金や認証評価等の必要要件を包括した実施内容

⑤　活動体制

(1)　全学 FD 活動（全学レベル）

センターの事業の推進にあたり，センター長を委員長とした全学 FD 委員会を中心として活動する。また，各事業を円滑に実行するため，業務ごとに担当委員を決めた上で，各事業の中心となるメンバーで組織した「全学 FD 委員会企画検討部会」を置き，各事業の企画，計画，実施した内容の検証等について検討した上で，担当委員に指示・共有し活動する。

(2)　学部 FD 活動（学位プログラムレベル，教員レベル（授業科目レベル))

学部 FD 委員会を中心として，学部（大学院，通信教育部，短期大学部，専門学校含む）ごとに活動する。

⑥　活動内容（センターにおける PDCA サイクル）

(1)　Plan（計画）

日本大学 FD 推進センター基本計画の策定

(2)　Do（実行）

ア　新規採用専任教員及び非常勤教員における動画による研修プログラムの実施

イ　全学 FD ワークショップの実施

ウ　学生 FD CHAmmiT の実施

エ　FD ガイドブック（Teaching Guide・Learning Guide）の作成

オ　日本大学 FD NEWS LETTER の発行

カ　日本大学 FD 研究の発行

キ　センターホームページによる情報発信

ク　ティーチング・ポートフォリオの検討

(3)　Check（評価）

ア　参加者アンケート，研修における理解度チェックテストの実施・分析

イ　授業評価アンケート（全学統一項目）の集計

ウ　全学自己点検・評価，学部等自己点検・評価結果の確認

エ　FD 等教育開発・改善活動に関する調査の実施・集計

オ　センター報告書の作成

(4)　Action（改善）

全学 FD 委員会によるセンター基本計画及び FD 活動の見直し

4　添付資料

①　別紙１「日本大学 FD 推進センターFD マップ」

②　別紙２「大学の求める教員としての資質」

以　上

日本大学FD推進センターFDマップ　別紙１

全学FD活動：Ⅰ.全学レベルの到達目標を達成するために全学FD活動を行う。
学部FD活動：Ⅱ.学位プログラム，Ⅲ.教員レベル（授業科目レベル）の到達目標達成のために各学部の特色や状況に応じたFD活動を行う。

レベル / フェーズ	Ⅰ.全学レベル（到達目標）	Ⅱ.学位プログラムレベル（到達目標）	Ⅲ.教員レベル（授業科目レベル）（到達目標）	全学FD活動
フェーズⅠ 新規採用教員 非常勤教員	・日本大学の ⇒A:歴史や成り立ちを知っている。 ⇒A:教育目標を知っている。 ⇒A:授業やカリキュラムに関する基本的な事項を知っている。	・学部学科の ⇒A:歴史や成り立ちを知っている。 ⇒A:教育目標を知っている。 ⇒B:授業やカリキュラムに関する基本的な事項を説明できる。	・担当科目の ⇒B:目的や目標を説明できる。 ⇒C:目的や目標をもとに運営計画を作成できる。 ⇒D:教材を作成できる。 ⇒D:授業を実施できる。	**新規・非常勤動画研修Program**
フェーズⅡ 中堅教員	・日本大学の ⇒A:置かれている状況を知っている。 （認証評価，教学マネジメント等）	・学部学科の ⇒A:置かれている状況を知っている。 ⇒B:教育目標を説明できる。 ⇒D:授業やカリキュラムに関する基本的な事項を設定できる。	・担当科目の ⇒D:目的や目標を設定できる。 ⇒D:シラバスを作成できる。 ⇒D:授業を評価できる。 ⇒C:関連科目間や科目群を説明できる。	**全学FDWS** **学生FD CHAmmiT**
フェーズⅢ 教授 執行部	・日本大学の ⇒C:置かれている状況を説明できる。 ⇒D:教学問題の改善策を立案できる。	・学部学科の ⇒C:置かれている状況を説明できる。 ⇒D:教学問題の改善策を立案できる。 ⇒D:教育目標を設定できる。 ⇒D:授業やカリキュラムを設定できる。	担当科目の ⇒D:科目間や科目群を説明できる。 ⇒D:カリキュラムをマネジメントできる。	**全学FDWS** **学生FD CHAmmiT**

認　知　A：Know 知る
↑　B：Knows-How わかる
↓　C：Show-How できる
行　動　D：Does 教える

※レベルⅡ及びⅢの内容については，適宜，各学部で追加・設定する。

大学の求める教員としての資質　別紙２

大学の求める教員としての資質（一般目標：GIO）

１　日本大学の歴史を認識するとともに，日本の社会や教育における役割を理解し，日本大学の教員としての使命感を身に付ける
２　所属学部の歴史を認識するとともに，教育目標を踏まえた効果的なカリキュラム構築や教学問題の改善手法を身に付ける
３　担当する授業科目の目標を認識するとともに，効果的な授業運営を行うことができる

大学の求める教員としての資質（到達目標：SBOs）

１－①　日本大学の歴史や成り立ちを知っている。
　　②　日本大学の教育目標を知っている。
　　③　日本大学の授業やカリキュラムに関する基本的な事項を知っている。
　　④　日本大学の置かれている状況を知っている。
　　⑤　教学問題の改善策を立案できる。
２－①　学部学科の歴史や成り立ちを知っている。
　　②　学部学科の教育目標を知っている。
　　③　学部学科の授業やカリキュラムに関する基本的な事項を説明できる。
　　④　学部学科の置かれている状況を知っている。
　　⑤　学部学科の教学問題の改善策を立案できる。
　　⑥　学部学科の教育目標を設定できる。
　　⑦　学部学科の授業やカリキュラムを設定できる。
３－①　担当科目の目的や目標を説明できる。
　　②　担当科目の目的や目標をもとに運営計画を作成できる。
　　③　担当科目の教材を作成できる。
　　④　担当科目の授業を実施できる。
　　⑤　担当科目の目的や目標を設定できる。
　　⑥　担当科目のシラバスを作成できる。
　　⑦　担当科目の授業を評価できる。
　　⑧　担当科目の関連科目間や科目群を説明できる。
　　⑨　担当科目のカリキュラムをマネジメントできる。

※「２」及び「３」の内容については，適宜，各学部で追加・設定する。